

(第22期)

貸借対照表

2026年3月31日現在

旭化成ライフライン株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
(資産の部)		(負債の部)	(1,347,787,544)
流動資産	3,661,420,834	流動負債	1,259,928,744
現金及び預金	5,400,852	工事未払金	742,539,484
売掛金	717,285,296	未払金	94,211,696
仕掛品	725,641,965	未払費用	119,500,359
貯蔵品	11,445,822	前受金	108,766,289
前払費用	6,474,564	未払法人税等	73,993,800
未収入金	95,700	未払消費税等	25,594,600
短期貸付金	2,192,767,936	預り金	2,071,516
立替金	429,787	賞与引当金	93,251,000
その他	1,878,912		
		固定負債	87,858,800
固定資産	138,325,490	退職給付引当金	87,858,800
有形固定資産	23,881,467		
建物	17,145,739		
構築物	1		
機械及び装置	1,127,700		
車両及び運搬具	3		
工具、器具及び備品	5,608,024		
無形固定資産	12,553,095		
ソフトウェア	12,553,095		
投資その他の資産	101,890,928	(純資産の部)	(2,451,958,780)
長期前払費用	55,237	株主資本	2,451,958,780
差入保証金	19,892,776	資本金	100,000,000
出資金	115,000	利益剰余金	2,351,958,780
繰延税金資産	81,827,915	繰越利益剰余金	2,351,958,780
		(うち、当期純利益)	(371,401,894)
資 産 合 計	3,799,746,324	負債及び純資産合計	3,799,746,324

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

仕 掛 品		個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)
-------	-------	---

2. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産 (リース資産を除く)		定額法
(2)無形固定資産 (リース資産を除く)		ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法 その他の無形固定資産は定額法
(3)リース資産		所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法 なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3. 引当金の計上基準

(1)賞与引当金		賞与の支給に充てるため、当期に負担すべき支給見込額を計上している。
(2)退職給付引当金		従業員の退職給付に備えるため、自己都合退職による期末要支給額の全額を計上している。(小規模企業等における簡便法の適用)

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、戸建・集合住宅等の設備(給排水・電気・ガス)の施工管理及び設計・施工を主な事業内容としており、顧客との契約に基づき、工事を完了させ、顧客へ引渡す履行義務を負っている。

当該履行義務は、工事が完了し、顧客へ引渡す一時点において、顧客が工事物件に対する支配を獲得して充足されると判断し、工事物件の引渡時点で収益及び費用を認識している。

なお、工事の請負における対価は、完全に履行義務を充足した時点から概ね1年以内に回収しており、重要な金融要素は含んでいない。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1)グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用している。

(会計方針の変更に関する注記) 該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記) 該当事項はありません。

(誤謬の訂正に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度の末日における発行済株式の総数	普通株式 2,000株
-------------------------	-------------

(収益認識に関する注記)

収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りである。